

みずほCustomer Desk Report 2019/08/21 号(As of 2019/08/20)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	106.65
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	106.57	1.1082	118.11	1.2129	0.6756
SYD-NY High	106.69	1.1106	118.25	1.2180	0.6795
SYD-NY Low	106.17	1.1065	117.58	1.2065	0.6754
NY 5:00 PM	106.24	1.1100	117.93	1.2170	0.6778

NY DOW	25,962.44	▲ 173.35	日本2年債	-0.2900	▲ 1.00bp
NASDAQ	7,948.56	▲ 54.25	日本10年債	-0.2400	▲ 1.00bp
S&P	2,900.51	▲ 23.14	米国2年債	1.5083	▲ 4.31bp
日経平均	20,677.22	114.06	米国5年債	1.4272	▲ 5.24bp
TOPIX	1,506.77	12.44	米国10年債	1.5513	▲ 5.59bp
シカゴ日経先物	20,485	▲ 160	独10年債	-0.6925	▲ 4.00bp
ロンドンFT	7,125.00	▲ 64.65	英10年債	0.4500	▲ 1.65bp
DAX	11,651.18	▲ 64.19	豪10年債	0.9400	2.00bp
ハンセン指数	26,231.54	▲ 60.30	USDJPY 1M Vol	7.81	▲ 0.09%
上海総合	2,880.00	▲ 3.09	USDJPY 3M Vol	7.61	▲ 0.05%
NY金	1,515.70	4.10	USDJPY 6M Vol	7.43	▲ 0.00%
WTI	56.13	▲ 0.01	USDJPY 1M 25RR	-1.66	Yen Call Over
CRB指数	170.90	0.12	EURJPY 3M Vol	8.25	0.03%
ドルインデックス	98.19	▲ 0.16	EURJPY 6M Vol	7.98	▲ 0.04%

アジア	東京時間のドル円は106.57レベルでオープン。本邦輸入企業のドル買いフローが見込まれる五・十日に当たることもあり公示仲値にかけて一時106.69まで上昇するも、その後はじり安に推移。特段取引材料の無い中で結局106.49レベルでロンドンへ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、106.50レベルでオープン。23日に、ジャクソンホールでのFRB議長のパウエル講演を控えて、日本円を含め、一般的に安全資産が買われた。ドル円は106.30円まで下値を切り下げる局面もあったが、同レベルがサポートとなり、反発。その後は約10銭の狭いレンジで推移し、106.35レベルでNYへ渡った。ポンドドルは、1.2111レベルでオープン。ジョンソン英首相の書簡に対するトラスEU大統領の反応が注目される中、ポンド売りに圧力がかかる。正午前に、欧州連合(EU)のトラス大統領が同書簡について「現実的な対案を提示していない」との発言が流れると、ポンドドルは1.2065まで下落し、3日振りの安値を付けた。結局1.2084レベルでNYへ渡った。(ロンドン17:00 00531 444 179 マルヒル)
ニューヨーク	海外市場のドル円は、五・十日絡みの本邦輸入企業のドル買いに106.69まで上昇するが、買い一巡後は、米金利の低下を手掛かりにじりじりと下落し、106.34レベルでNYオープン。朝方は主要な米経済指標の発表が予定されていない中、海外時間の流れを引き継ぎ、一時106.17まで下落する。その後、メルケル独首相が「我々はブレグジット問題に対して現実的な解決策を考えていく」と述べたことが伝わると、ポンドは全面的に買いで反応し、ドル円はポンド円の上昇に連れ高となり、106.47をタッチ。午後は米株がじりじりと下げ幅を拡大する動きを横目に106.20まで下落。終盤は小幅に値を戻し、106.24レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは、手掛かり材料が乏しい中、1.1080を挟んだ狭いレンジでの推移となり、1.1079レベルでNYオープン。朝方はコンテ伊首相が演説で「現政権の活動はこれを持って終了」と発言したことが伝わると、ユーロ売りに反応し、1.1065をつける。しかしその後、メルケル首相のブレグジットに関する発言を受けて、ポンドに対するドル売りが対ユーロにも波及し、1.1094まで反発上昇。独10年債利回りを低下が一服する中、ユーロの買い戻しが優勢な展開となる。午後は米金利の低下にもサポートされ、1.11台を回復し、高値1.1106をつける。終盤は1.1100を挟んだ狭いレンジでの推移となり、そのまま1.1100レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報提供のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 玉井・小笠原

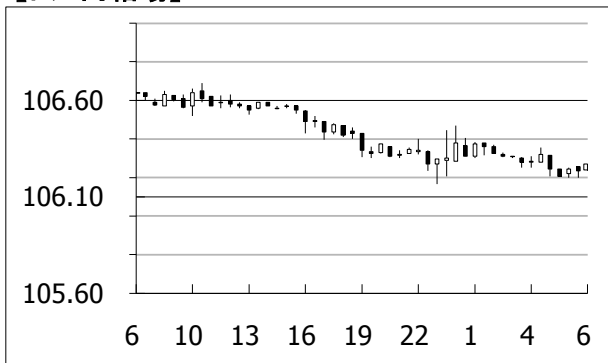
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月20日	15:00	独	PPI(前月比)	7月 0.1%
	15:00	独	PPI(前年比)	7月 1.1%
8月21日	07:00	米	クオールズFRB副議長 講演	-

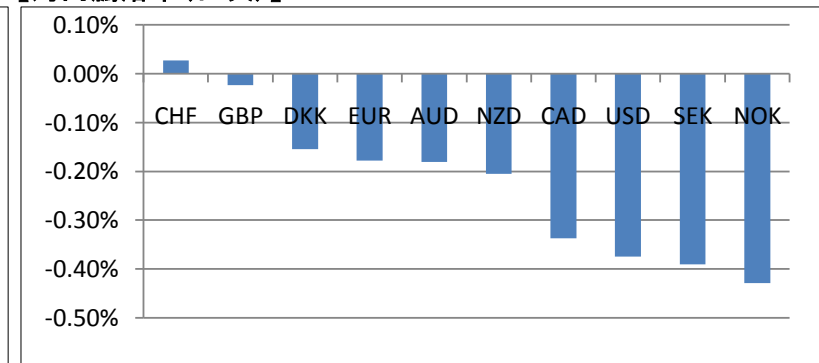
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
8月21日	21:30	加	CPI(前年比)	7月 1.7%
	21:30	加	CPI	7月 136.6
	23:00	米	中古住宅販売件数	7月 5.39m

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	105.80-106.60	1.1050-1.1150	117.50-118.50

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は下落。23日にパウエルFRB議長の講演を控えて上値の重い推移。米長期金利が低下する中、海外時間に渡った後もじり安に推移し、NY時間朝方に一時106.17円まで下落した。本日のドル円は狭いレンジでの取引を予想。米7月FOMC議事録が公表される予定であるが、パウエルFRB議長の講演と比較しても注目度は低い。様子見ムード強く、ドル円は動意薄に推移するだろう。米中通商交渉関連の報道などヘッドラインには警戒したい。